

# 統一文化世界を目指して

この講演は、去る第2回「世界文化体育大典」の一環として行われた第20回「科学の統一に関する国際会議」の第7分科会において、李相軒先生が語られたものです。

韓国統一思想研究院院長

李 相 軒



冷戦時代の終わりとともに、世界は大混乱時代を迎えた。

民族主義の台頭とともに民族紛争は激化し、諸文化は調和より対立に向かっているかのように見える。それでは、これからの世界は分裂と闘争へと後退していくのであろうか？あるいは、このような混乱期の試練を超えて、世界的な統一文化時代を迎えるのであろうか？

今日の文化や民族の対立の背景には、民主主義と共産主義という二大価値観の崩壊のもとでの価値観の相対化現象、あるいは排他的な疑似絶対的価値観の相互衝突があるのである。したがって、統一文化が実現するか否かという問題は、真の絶対的価値観が可能かどうかという問題になるのである。

## (1) 絶対的真理を掲げた共産主義の崩壊

マルクスによれば、支配階級に奉仕してきたそれまでの哲学はすべて相対的真理であったが、唯物弁証法に基づいた科学的社会主義は全人類的な絶対的真理であるとされた。

しかし社会的科学主義によって、革命を実践した社会主義国において、その理想は達成されなかった。人間が抑圧から解放される自由な社会、富にあふれる社会、階級のない社会を目指したにもかかわらず、かえって人間性はいつそう抑圧されて、自由を奪われた社会、経済的に破綻した社会、新しい階級（共産主義官僚）によって人民が暴力的に支配される独裁社会となった。

その苛酷な独裁社会のなかで、共産主義に対する人民の憎悪と反抗心が高まっていった。そして、ついに共産主義の崩壊という事態を迎えたのであった。それとともに、絶対的真理であり、絶対的価値であると見なされた科学的社会主義の虚構性があらわになったのである。

そして今、絶対的真理であるはずの共産主義を放棄した東欧や旧ソ連において、それまで批判の対象であった資本主義をそのまま受け入れることはできず、思想の空白状態が残った。

共産主義という夢に破れた旧共産圏の指導者たちは、これからは共産主義の失敗を土台として、「新社会主義」を目指すとか、左右に関係のない「新民主主義」を目指すなどと言っているが、それはいかなるものなのか、そこには明確な理念やビジョンは何もないのである。

## (2) 相対主義に陥った自由民主主義

一六二〇年、メイフラワー号で北米プリマスに上陸した

アメリカは正に希望の国であった。

しかし一九九〇年代を迎えても、アメリカの建国の理想はいまだ達成されていない。経済的な不平等を力づくで廃止しようとした共産主義は、経済そのものを破壊してしまっただけで、自由の旗をかかげて、あらゆる権利の平等を追求したアメリカも、大きな壁にぶつかっている。さまざまなプライバシーの主張、ウーマンリブによる徹底した男女同

権の追求、そして同性愛者の権利まで、あらゆる権利が主張された結果、家庭は崩壊し、麻薬とエイズの氾濫する社会となつてしまつたのである。

あらゆる宗教、そして無神論までも同等に扱おうとしたために、アメリカの公立学校から、神が追放されて、進化論が科学的真理として教えられるようになった。その結果、伝統的なキリスト教的価値観は蝕まれていった。このような事実から見るとき、自由と平等を掲げた自由民主主義は、それ自体では絶対的真理となり得なかつたことを示している。

アメリカの独立宣言はロックの理念に大きく影響されていた。すなわち生命の安全と自己保存のために、各人の同意のもとで社会契約に基づいて政府は立てられるという考えである。これは自由民主主義は、個人主義の上に立つ方便的な政治体制でしかないことを示すものである。

一方、独立宣言には、人間の権利は「創造主によつて与えられただれにも譲ることのできない権利」と明記されている。そこでは人間の権利は神から与えられたものであるとされた。したがつてアメリカの民主主義は、神を中心として、初めて絶対的な基盤をもつことができたのである。

ところがアメリカ人は個人主義、物質主義に陥り、次第に神への信仰を失つていった。その結果、個人主義に基づ

分的かつ未熟な表現であつたと考えます。現代世界における人間の諸問題を根本的に解決するために、私たちは既存のいかなる主義や主張をも超越した、全体に対処できる絶対的価値、一つの原理を見いだすのです」

そしてそのような原理として、神主義または頭翼思想、すなわち統一思想を提唱されたのであつた。

絶対的価値とは、時代を超え、民族を超え、国家を超えて、すべての人々に普遍的に受け入れられるものでなくてはならない。それは何であるか？ 知識でもなく、権力でもなく、財力でもない。無規律的な自由でもなく、形式的な平等でもない。それは愛でしかない。その愛は利己的な愛——個人を中心とした愛、一家族だけの愛、一民族だけの愛、一国家だけの愛——ではない。個人、家庭、民族、国家を超えた超民族、全人類的爱である。

また一時的、衝動的な愛ではなく、永遠な愛である。そのような愛を真の愛、または絶対的な愛という。それは神の愛を基盤とした愛であり、他のために生きることを喜びとする愛である。

共産主義に欠けていたのは、真の愛であつた。共産党は人民を愛し、人民の利益を代表すると称していたが、それは見せかけにすぎなかつた。その結果、共産党による、人

いて、あくなき権利の平等を追求したアメリカの自由民主主義は、家庭の崩壊をきたし、健全な社会と国家の威信を失ふことになつたのである。自由民主主義はそれ自体では絶対的価値とはなり得ず、人間と社会の理想の実現のための手段にすぎないのに、自由民主主義そのものを絶対視したところに問題があつたのである。

### (3) 絶対的価値観の確立

経済的平等の旗を掲げた共産主義は闘争と貧困をもたらし、自由の旗を掲げた自由民主主義は利己主義と道徳的退廃に陥つた。共産主義も自由民主主義も絶対的真理とはなり得ず、絶対的価値を実現することはできなかつた。

そして、このような絶対的価値観の崩壊の中で今、民族主義が台頭し、民族紛争が激化することになつたのである。それでは、真に人類全体の平和と幸福を実現し得る絶対的価値は存在し得るのであるか？

文鮮明先生は、アトランタで開かれた「第十六回科学の統一に関する国際会議」で、次のように語られている。

「私は、有神論、人本主義、唯物論による各主張が今日まで、互いに非妥協的闘争の中のみあつたとは思ひませぬ。むしろ、それらは一つの原理つまり絶対的価値の、部民に対する暴力的な支配が行われたのである。

一方、自由民主主義は個人主義に流れて、家庭において親子、夫婦の愛のきずなが失われ、社会において人と人とのきずなが失われてしまつた。そこには自己中心的な愛があるだけで、真の愛が欠けていたのである。

それでは真の愛はいかなるものであろうか？ それはイエス・キリストの説かれた愛であり、釈尊の慈悲であり、マホメットの慈愛、孔子の仁である。それらはそれぞれの立場から真の愛を表現したものであつた。しかしながら、これら従来の真の愛の教えは漠然としており、論理的、科学的思考方式をもつた現代の人々には理解しがたいものとなつている。したがつて今、その愛を明確に説くことが必要なのである。

そのためには、我々はまず神の實在と神の属性を明確に知らなくてはならない。また、自己中心的な墮落した愛の起源を知り、それを克服してゆかなくてはならない。そして従来の漠然とした真の愛の内容を、明確なものにしなればならない。そのような明確な内容の真の愛の教えが、文先生の提唱されている神主義であり、統一思想である。

個人において、心と体が真の愛を中心として統一されるとき、個人の平和が実現され、家庭において夫婦が真の愛



# 心に いい話 いい話

好評発売中!

私が出会った文明鮮先生・38人の証

心にしみるいい話

文鮮明先生の真実の姿が  
38人もの証言を通して  
明らかに!

■新書判 ■定価700円(税込)

先生は教会員の悩みや性格、霊的背景を見抜いて適切な助言をし、仕事に  
関して細かい指導をしてくださいました。また女性に対しては、将来のため  
に花嫁教育をしたり、服装にまで細かいアドバイスをしてくださいました。  
実に細かいことまでも配慮してくださいさる先生に兄弟姉妹は親の愛、真の愛を  
感じとったのでした。(はじめにより)

私が出会った文明鮮先生・38人の証

## 『心にしみるいい話』第2集原稿大募集

光言社では、『心にしみるいい話』の好評につき、ただいま第2集の原稿  
を募集しております。文先生との出会いや、夢あるいは霊的体験、濟州島  
や水沢里やアメリカなどの修練会での思い出など、「とっておきの秘話」を  
活字にしてみませんか。だれもが感動する素晴らしい本を出版したいと思  
います。原稿は1200字程度。若干添削することもあり  
ます。採用分には、1万円進呈いたします。  
奮って、ご応募ください。お待ちしております。



応募方法：『ファミリー』編集部へ郵便でお送りください。

締め切り：11月30日まで(消印有効)

注意事項：原稿は原稿用紙に黒のボールペンで。ワープロを使用される場合は、  
一枚に400字(20字×20行)をお願いします。

別紙に、住所・氏名・職業・年齢・電話番号・祝福の双を明記してください。

なお、はじめに①「見出し(タイトル)」と②「いつのことか」を明示し、  
その後から本文をお書きください。

採用審査：選考委員によって、12月20日までに審査し、掲載原稿を決定します。

採用が決定した原稿については、その旨を本人に連絡いたします。

で愛し合うとき、家庭の平和が実現される。国民と国民が  
真の愛で結ばれるとき、国家の平和が実現され、国と国が  
真の愛によって奉仕し合うとき、世界の平和が実現される  
のである。

神主義から見れば、真美善の価値はそれ自体で絶対的な  
ものではない。真の愛に基づいたとき、真美善は、初めて  
絶対的な価値となるのである。同様に、共産主義の掲げた  
平等の原理も、自由民主主義の掲げた自由の原理も、それ  
自体で完全な原理とはなり得ない。自由も平等も愛のため  
にあるのである。すなわち自由も平等も、真の愛を実現す  
るという目的に向かうときに、初めて絶対性を持つことが  
できるのである。

このような立場から見ると、神主義の提示する絶対的  
価値は、共産主義の掲げた価値観も自由民主主義の掲げた  
価値観も、ともに包容し得ることが分かる。真の愛におい  
て、真の自由が実現され、真の平等が実現されるからであ  
る。そればかりでなく、神主義は相対化してしまったあら  
ゆる伝統的な価値観を包容し、それらを絶対的なものとし  
て蘇よみがえらせることができるのである。

このような真の愛に基づいた絶対的価値が実現されると

き、国境紛争、  
民族紛争、人種  
の対立、国家主  
義、民族主義、  
環境問題等、す  
べての問題は解  
決され、文化は  
調和と統一を成  
し遂げ、人類は  
みな神を中心と  
した兄弟姉妹と  
なり、一族世  
界が実現される  
ようになるので  
ある。そして、  
その理想の実現  
の日は間近に迫  
っているのでは  
ない。

## 日韓交流のお手伝いします

「韓国語から日本語、日本語から韓国語の翻訳、承ります」

「兄弟・姉妹結縁を結んだかた、韓国の相対者のかたのお便りに」

●お問い合わせ・お申し込みは、

光言社・情報ネットワーク部/翻訳係

(日韓交流をすすめる会)まで

●連絡先：FAX. 03(3468)5418 TEL. 03(3467)3704